

多古町地域おこし協力隊

協力隊活動報告

岡田隆太郎



簡単な略歴



岡田 隆太郎

Ryutaro Okada

二度目の
協力隊員

1993年7月7日生まれ

千葉県富津市出身

東洋大学経済学部総合政策学科卒業

これまでの職歴

- ・不動産賃貸保証会社の契約審査員
- ・タウン情報誌「月刊ぐるっと千葉」の記者
- ・香取市初の地域おこし協力隊
- ・多古町観光まちづくり機構職員
- ・株式会社ザファームより受託事業（継続中）

4つの主たるミッション

1

多古町観光まちづくり機構が実施・参加するイベント
および多古町が実施する事業に関する活動への参加・協力

2

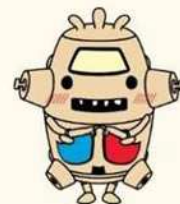
おためし地域おこし協力隊事業
協力隊インターン事業の企画運営

3

商品企画・イベント企画・既存の商品のリニューアル等

4

任期終了後、多古町で開業・就業
するために必要なスキルの習得



地域おこし活動の
3つの心がけ

1

まちづくり機構や多古町から依頼された
ことについて協力を惜しまないこと

2

協力隊員同士の繋がりや協力
地域との関わりを（無理のない範囲で）増やすこと

3

地域資源を活用することを常に考え
ビジネスの研究を行うこと



まちづくり機構への協力・サポート実績

【イベント準備&当日運営補助の実績】

- ・ 田植え農業体験 ・ あじさいウィーク ・ あじさい祭り
- ・ おためし地域おこし協力隊 ・ たこらぼ縁日
- ・ 多古米グランプリ ・ いきいきフェスタ2026 ・ たこらぼクリスマス
- ・ ライフワークの輪 ・ ラテンミュージックフェスタ2026

【PR販売の協力実績】

- ・ ZOZOマリンスタジアムPR販売
- ・ 都庁PR販売



おためし地域おこし協力隊の企画・運営

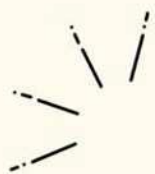
まちづくり機構と連携し、これまで企画・運営経験のあったおためし地域おこし協力隊の企画・運営補助を行いました。

今年度については、加藤隊員とボードゲームを使ったワークショップ形式の取り組みを行い、笠川隊員には哲学対話方式のコンテンツを協力していただきました。全7名の参加でした。

※今年度の協力隊インターンについてはまちづくり機構単独で開催されました。



サポート活動



隊員へのサポート



多古町3年目、地域おこし協力隊二回目の
私だからできる人と人を繋げる活動と協力

陳隊員とのケース

【課題】 陳隊員の農業展開に向けた農地確保が難航

【支援】 まちづくり機構時代の繋がりを活かし、地域の農家へ直接交渉

【成果】 喜多地区の畑を確保し、「孔雲の里」事業が始動

陳さんの観光農園事業の支援や動画制作を協力して行っています。



笠川隊員とのケース

【目的】 お正月向けオリジナルグッズの制作・販売

【活動内容】 「いきいきフェスタ2025」にて『ふっくらたまごさん』グッズショップを共同出店（笠川隊員：おみくじ、自身：だるまキーホルダー制作）

【成果と課題】 グッズ販売の大きな可能性を実感した一方、PRや話題作りのリソース不足が課題として浮き彫りに



その他協力隊員への協力

加藤隊員

- ・「えんがわcafe」クラファン撮影協力
- ・「まちのスコール」への出店協力
- ・「ボードゲーム交流会」の運営補助

梅田隊員

- ・「名月芋煮会」イベントへ着ぐるみ要員として協力

寺内隊員

- ・「ANGEL'S CAFE」の3Dプリント看板製作

地域と隊員の需要と供給を繋ぎ
独善的に押し付けることなく
共存共栄（きょうそんきょうえい）の関係を
作り出せるようにサポートを
心がけていきます！

まだ一緒に活動
できていない隊員もいるので
二年目はさらに
協力の輪を広げたい。



個人活動について



多古町で開業・就業
するために必要なスキルを獲得



3Dプリンター事業

3Dプリンターを活用した
ゆるキャラグッズ制作・販売実績

千葉県香取市のゆるキャラ
「忠敬SUN」3Dストラップ

岩手県陸前高田市のゆるキャラ
「たかたのゆめちゃん」フィギュア

千葉県多古町のゆるキャラ
「ふっくらたまこさん」キーホルダー
& だるまストラップ



見えてきた課題

- 3Dプリンター販売は好調も、任期後の独立には収益力に課題
- 映像制作や印刷系など、個人スキルの本格的な事業化が急務
- 本年度は業務の取捨選択を行い、新規ビジネスの立ち上げに注力

次年度に取り組みたいこと（ビジネス）

今までやってきた事業

広報・SNS運営の受託事業
ふるさと納税のコンサル事業
動画撮影&編集事業
3D製品のプロダクトデザイン・プリント事業
パッケージデザイン事業

ひとつひとつの
取捨選択をはっきりして
ブラッシュアップをする
フェーズにきている



まとめても信頼感・安心感があるような事業にするのが理想

クリエイティブディレクション事業に昇華させる

次年度に取り組みたいこと（ビジネス）

ローカル・リユース事業

～多古町を、捨てる場所から『世界に繋ぐ場所』へ～

地域で眠っている不用品を引き取り・買い取りなどをして、綺麗にメンテナンスし、次に必要としている方へつなぐ

『ローカル・リユース』事業を開始したい。

最初は自身の知識のある商品に限り、ホビー製品や漫画、音響・楽器製品などを足掛かりに、単なるリユースではなく円安の状況を最大限に活かして、海外への販売も視野に入れ、事業を組み立てていきたい。



任期中までに取り組みたいこと（ビジネス）

クリエイティブ
ディレクション事業

×

ローカル
リユース事業



グローバル価値創造
貿易事業
(越境EC事業)

要素	従来の「リサイクル・転売」	「越境EC事業」
視点	不要なものを処分する	地域資源を世界へ最適化する
技術	価格比較・仕入れ	クリエイティブディレクション (付加価値向上)
範囲	近隣・国内マーケット	グローバルマーケット (外貨獲得)
出口	国内のリユースショップ、ヤフオク・メルカリ等	世界中の愛好家・コレクター、グローバルECサイト

任期中までに取り組みたいこと（ビジネス）

世界に最も近い町から
「蔵」や「納屋」に眠る地域遺産（レガシー）を
世界へ最適化（ディレクション）する
外部資本（インバウンド）に頼らない「内発的」な外貨獲得で
町を豊かにする「越境EC事業」を始めたい

※ 「企業誘致」や「補助金」に依存する外生的な発展とは対極の考え方

次年度に取り組みたいこと（地域活性化イベント）

もったいない市の開催

先ほど述べた次年度に取り組みたいビジネスに関わることで、地域で眠っている不用品すら地域資源と解釈し、利活用したり、「捨てるを減らす」リユース・アップサイクルな活動にも取り組みたいと思います。

自分の周りには少なからずフリーマーケットに出店したい方もいますので、あじさい公園などで野菜のB級品市や物々交換会など色々な要素をまとめたイベントが計画できればと思います。



最後に

ご清聴ありがとうございました！
二年目の活動も
よろしく申し上げます

